



2025年1月8日

各位

会社名 株式会社ワールド
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
 (コード番号：3612 東証プライム)
 問合せ先 取締役 副社長執行役員 中林 恵一
 (TEL：03-6887-1300)

通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2025年1月8日開催の取締役会において、昨年4月3日の2024年2月期本決算発表時に開示した2025年2月期（2024年3月1日～2025年2月28日）の業績予想および配当予想の修正を決議しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 2025年2月期 通期業績予想数値の修正（2024年3月1日～2025年2月28日）

	売上収益	コア営業利益	営業利益	税引前当期利益	当期利益 (親会社の所有者に帰属)
前回発表予想 (A)	百万円 230,000	百万円 17,000	百万円 15,500	百万円 14,550	百万円 8,500
今回修正予想 (B)	230,000	17,000	16,500	15,500	11,100
増減額 (B-A)	—	—	1,000	950	2,600
増減率 (%)	—	—	6.5	6.5	30.6
(ご参考) 前期実績 (2024年2月期)	202,342	13,569	12,004	11,186	6,764

(注)前連結会計年度は、決算期の変更により、2023年4月1日から2024年2月29日までの11ヶ月間となっております。なお、決算期変更に伴う前年比較の説明は、本日公表した決算短信の添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 修正の理由

2025年2月期通期の親会社株主に帰属する当期利益が111億円と前回発表予想85億円から約26億円・3割超上回る見込みです。この上方修正の要因は、①第3四半期連結累計期間の収益の計画超過（約6億円プラス）、②会計・税務上の一時的な要因（約20億円プラス）、の二つに大別されます。

まず、「①第3四半期連結累計期間の収益の計画超過」については、ブランド事業にて、アパレルブランドが残暑対応などで商品課題を残した反面、ライフスタイルブランドが底堅く推移したほか、デジタル事業及びプラットフォーム事業が期初想定を超えて伸張しました。未だ第4四半期を残し先行きも予断を許さないため、売上収益とコア営業利益は期初計画を据え置くものの、親会社の所有者に帰属する四半期利益で約6億円上振れる見込みとなったことから、この増額修正分を期末配当の増加に充当する形で配当予想も下記のとおり修正します。

次に、「②会計・税務上の一時的な要因」として、2025年2月に予定する三菱商事ファッション株式会社の子会社加入に伴う負ののれん発生益を見積もったことに加え、持分法適用の投資会社である株式会社W&Dインベストメントデザインによる株式会社ライトオンの子会社化や、連結子会社だったラクサス・テクノロジーズ株式会社の新規上場に伴う持分法適用関連会社化に伴う影響を織り込んだほか、将来リスクに備えた一過性ロスの引当及び計上を見込んでおります。なお、これらは一時的要因であり、下記の配当予想の算出に考慮して

おりません。

3. 配当予想の修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭	円 銭 38.00	円 銭 75.00
今回修正予想		43.00	80.00
当期実績	37.00		
(ご参考) 前期実績 (2024年2月期)	26.00	30.00	56.00

2024年2月期 期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 記念配当 5円00銭 (上場5周年記念配当)

4. 配当予想修正の理由

当社は、資本政策の基本指針として、「利益成長」「財務健全」「株主還元」が三位一体でバランスのとれた持続的な向上を掲げています。そして、2023年5月に公表した中期経営計画「PLAN-W」では、2026年2月期までの3年間において、配当性向は30%を目途に維持しつつ、持続的な利益成長を原資とした連続増配による株主還元の拡充を目指しております。

「PLAN-W」の2年目に当たる当連結会計年度は、上述のとおり、前期に続いて業績が持続的に順調な拡大を遂げており、「PLAN-W」の達成に確かな手応えを得られるものとなっています。当社では、一時的要因を除いた調整後利益に配当性向を乗じて配当予想を求めておりますが、会計・税務上の一時的要因を除いた親会社の所有者に帰属する四半期利益の増額修正分を増配の原資として算定しました。

こうした資本政策の指針や今期業績の進捗を踏まえて、2025年2月期の期末配当金は1株当たり38円から43円へ5円増配となる見込みです。なお、今期の年間配当金は80円と11ヶ月間の変則決算だった前期実績の56円から大幅な増配を予定しますが、これで「PLAN-W」始動前の年間48円からも年率換算で3割近い増配ピッチとなります。来期以降も業績拡大を背景とした持続的な増配の達成を目指してまいります。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上